

人権について考えよう

6月から全校で取り組んできた人権作文。去る7月15日には、各クラス代表者による、全校人権意見発表会を開催しました。4名がそれぞれの切り口で、意見を発表し、全校生が『人権』についての考えを深めてく時間になりました。4名の作文をきっかけにして、どんなことを考えたのか、全校生の感想の一部を紹介します。今後も『人権』の大切さを絶えず考えていきましょう。



1年1組 村田彩綾さん 「3人の未来への願い」の発表を聞いて

- ・心に語りかけてくるような作文でした。ぼくたちにとってのあたりまえは他の国にとってはあたりまえじゃないことも知りました。そして、人という存在は支え合いの中でしか生きられないことも知れました。だからこそ、日々の生活に一生懸命になりたいと思いました。
- ・私はこの発表を聞いて、今の私たちは当たり前のように笑顔あふれる毎日をすごしているけれど、それは人権が守られているからこそそのものなのだと分かりました。でも世界の中にはその権利が守られていない人がいます。この経験をくり返さない、忘れないようにしていきたいです。
- ・1回起きてしまったことは何度もくり返さないことが重要ということに気づきました。自分が平和に生きているうらで、戦争、食べ物が食べられないなど、あたりまえがない世界がたくさんあります。自分はこういう世界に対し、少しでも力になれるように、普段の生活から意識を高めて生活していきたいです。
- ・毎日の平和がどれだけ尊いものかを考えることができました。僕も兄弟を大切に、毎日の平和がいつまでも続くようにしたいです。そのためには、残酷な戦争をおこさないようにみんなが誰かのためにと考え、ケンカせずにお互い不満に思っていることを言い合い、心から仲よくなりたいです。



2年1組 見上千笑さん 「その画面の向こう側」の発表を聞いて

- ・インターネットはとても便利だけれど、おそろしいものだと改めて考えなおしました。コメント欄は自分だけのものではなく、その動画を出した相手、他の視聴者さんも見ている公共の場だということを理解した上で、行動をとることが大切だと知りました。インターネットに関わらず、人を尊重することが大切だと思いました。
- ・インターネットは何でもできて便利だけれど、間違った使い方をしてしまうと人を傷つけることにもなると分かりました。私もインターネットをよく使うけれど、相手が見えないから暴言を言っても怖くないと思わず、自分が言われてうれしいこと、みんなが温まる言葉をコメントしたいと思いました。
- ・ネット上での軽はずみな一言が相手の一生に残る言葉になってしまう。自分に置き換えて、ネットのおそろしさをさらによく見直すことが

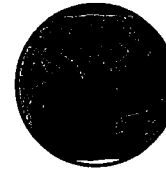


できました。ネット上でも現実でも、この一言は相手にとって良いことか悪いことかをよく考えて使っていきたい。

- ・インターネットが普及したこの時代で、自分が無意識に相手を傷つけているのかもしれない。画面の中という小さな世界にとらわれないように生きていきたい。

3年1組 澤田夏帆さん 「人権と戦争」の発表を聞いて

- ・夏帆さんの「戦争をしても何も残らない」という意見にはとても共感できます。今もウクライナとロシアが戦争をしているけどその戦争が早く終わればよいと考えています。今の日本は平和だけれど、未来に日本でも戦争が起きたらどうしようと思いました。
- ・戦争の後に残るのは未来への明るい希望などではなく、「おなしさ」というのが強く共感できました。命を殺めるという罪を犯した男性兵士は命によって裁きを受けました。僕は、死刑制度すら反対です。それ程、命というのは尊いと思っています。
- ・テレビのニュースで初めてウクライナとロシアが戦争をしていると聞いたときは、日本が巻き込まれないか、ウクライナの方は大丈夫か毎日考えていたけれど、日数が経つにつれて気にしなくなっていたことが恐ろしく感じました。
- ・関係のない人がおやみに殺されたり、戦争はすごく恐ろしいものだと感じました。今でも当たり前のように続いているウクライナ侵攻。よくニュースで見たりしていますが、最近、そのニュース自体も減ってきているように思います。私たちの意識が下がってきているのではないかなと思いました。私たちも戦争の恐ろしさを改めて感じ、二度と起こさない社会をつくっていききたいです。



3年2組 中川歩美さん 「同じ人間だからお互いさま」の発表を聞いて

- ・自分もほかの人にめいわくをかけることは絶対にあるので、他の人が失敗してしまったりしても広い心をもってゆるしたり、困っていたりしているなら、声をかけてあげたり助けてあげたりしていきたいと思いました。
- ・私はこの発表を聞いて、大切なのは相手を認め、広く受けとめることだと思いました。どんな人だってめいわくをかけることはある。けれど、それを過剰に批判するのではなく、「お互いさま」という優しい心をもつことで、もっと優しい心が広がっていくと思います。
- ・僕もよく人に迷わくをかけてしまうけれど、でもそれはみんなにも言えるところがあるから、間違えてもいいんだと思った。迷わくはかけてもいいけど、わざとはしてはだめだとしっかりと分かって生きていきたいと思う。
- ・私も毎日友達、家族に小さな迷惑をかけていると思う。けれど、その分、私はまわりからの迷惑を受けとめて助けることができているのだろうか。この作文を聞いて、自分の在り方を見つめ直そうと心から思った。相手の気持ちを考え尊重することがどれほど大切なのか学ぶことができた。

